

【記載例】研修記録（〇〇障がい福祉サービス事業所）

研修テーマ	虐待防止及び身体拘束適正化					
開催日時	2026年3月9日(月)		15:30	から	17:00	
開催場所	〇〇障がい福祉サービス事業所 相談室					
研修参加者	本町、森野、金森、鶴川、玉川、三輪、山崎、小山、相原／9名					
人数だけでなく、名前も明記が必要です。	研修不参加者とその対応		研修のうち虐待防止研修は、職種や常勤/非常勤の別、利用者を直接支援するか等によらず、事業所の全従業員が年1回受講が必要です。			
	木曾、南、東、鶴間／4名		※参加できなかった職員については、事前に配布した資料を確認してもらい「虐待防止職員セルフチェックリスト」を各自記入の上、事務所に提出した。また、当事業所のヘルパー通信でも研修の内容を報告し、周知を図った。			
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に配布していた「障害者虐待をなくそう」のパンフレットや「身体拘束適正化のための指針」（※別紙参照）を使い、障害者虐待の定義、虐待者、被虐待者の自覚は問わないこと、障害者虐待の具体例、虐待を発見したらすぐに通報すること、身体拘束適正化のための指針の7項目等を学んだ。 ・事務所の掲示されている相談通報届出先を確認したり、通報届出の手順の確認を行った。 ・従業員に対して「虐待防止チェックリスト」を実施した。 					
虐待防止研修と身体拘束適正化研修を一括で開催した場合、虐待防止と身体拘束適正化の両方の内容を明記してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉で伝えることが難しい利用者さんが多いので、表情等見ながら気を付けていきたい。 ・衣服の着脱などこれからも気を付けていきたい。 ・名前の呼び方など利用者さんやご家族と相談しながら気を付けている。 ・小さいころから関わっているので、保護者はちゃんづけを希望することが多く、呼び方が難しいところである ・入浴の時など全身チェックは日頃から行っている。 ・届出通報の手順がわかりやすかった。 ・身体拘束はあくまで、緊急事態の手段であることを改めて感じた。 					
意見・感想						
チェック欄	管理者		サービス管理責任者		記録者	